

科目名	臨床薬理学 Clinical Pharmacology			担当教員 (研究室番号)	林 辰弥 (507)		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修 年次	2年次 前期	科目 区分	専門支持科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	2 (30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	現代の医療における薬物療法の重要性は周知の事実で、いずれの診療科でも薬物療法は必要不可欠であることから、医療現場において、看護師が薬物を取り扱う機会は益々増加すると考えられる。本講義では、薬理学総論及び看護師が知っておくべき代表的な薬物の作用機序・適応・副作用・注意事項などを学び、それらに関して、生理学、解剖学、生化学などで学んだ基礎知識を背景に理解し、論理的思考に基づく薬物療法に伴う看護実践に役立てる。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
	関連するDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)										
到達 目標	薬物の作用機序と体内動態、薬物相互作用、薬効に影響する因子、有害作用、管理法などを理解できる。 抗感染症薬、抗がん薬の作用機序を理解できる。 免疫治療薬、抗アレルギー薬・抗炎症薬の作用機序を理解できる。 末梢神経、中枢神経作用薬の作用機序を理解できる。 循環器系作用薬の作用機序を理解できる。 呼吸器・消化器・生殖系作用薬の作用機序を理解できる。 物質代謝作用薬の作用機序を理解できる。											
成績評価方法 (基準)		出席日数 (3分の2以上を必要とする) 定期試験 (90%)、レポート (10%)										
再試験の有無と 基準等		再試験は教員が必要と認めた場合、不合格者全員に対して実施する。										
教科書		系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③ 医学書院										
参考書等												
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待		薬物の作用機序、効果およびその副作用の理解には、1年次の生化学の知識が不可欠です。講義の中でも生化学の知識の反復を心がけますので、講義内容が難しいかもしれませんが、生化学の知識を思い出しつつ、ついてきてください。講義の目的は、科学的思考に基づいて論理的に薬の作用を理解してもらうことですので、疑問点などがあったら、講義中、講義後にかかわらず質問し、積極的に講義に参加し、能動的に勉強して下さい。										
備考												
回	学習項目				学習内容					主担当 教 員	授業 方法	
1回	薬理学総論 薬理学を学ぶにあたって				薬物治療と看護、薬理学とはなにか					林	講義	
2回	薬理学総論 薬理学の基礎知識				薬が作用するしくみ(薬力学)、薬の体内動態(薬物動態学)					林	講義	
3回	薬理学総論 薬理学の基礎知識				薬の体内動態(薬物動態学)、薬物相互作用、妊娠期に胎児に影響を及ぼす嗜好や薬物、授乳期に乳汁に移行する薬物、個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と薬物乱用・依存などの危険性					林	講義	
4回	薬理学総論 抗感染症薬				薬と法律 感染症治療に関する基礎事項					林	講義	
5回	抗感染症薬				抗菌薬各論、抗真菌薬・抗ウイルス薬・抗寄生虫薬					林	講義	
6回	抗感染症薬 抗がん薬				感染症の治療における問題点 がん治療に関する基礎事項、抗がん薬各論					林	講義	
7回	免疫治療薬 抗アレルギー薬・抗炎症薬				免疫系の基礎知識、免疫抑制薬、免疫増強薬・予防接種薬 抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬					林	講義	
8回	抗アレルギー薬・抗炎症薬 末梢での神経活動に作用する薬物				炎症と抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風・高尿酸血症治療薬 神経系による情報伝達と薬物					林	講義	
9回	末梢での神経活動に作用する薬物				交感神経作用薬、副交感神経作用薬、筋弛緩薬・局所麻酔薬					林	講義	
10回	中枢神経系に作用する薬物				中枢神経系のはたらきと薬物、全身麻酔薬、催眠薬・抗不安薬					林	講義	
11回	中枢神経系に作用する薬物				抗精神病薬、抗うつ薬・気分安定薬、パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬、片頭痛治療薬					林	講義	
12回	循環器系に作用する薬物				降圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬、抗不整脈薬					林	講義	
13回	循環器系に作用する薬物				利尿薬、脂質異常症治療薬、血液凝固系・線溶系に作用する薬物、血液に作用する薬物					林	講義	
14回	呼吸器・消化器・生殖系・泌尿器系に作用する薬物				呼吸器系に作用する薬物、消化器系に作用する薬物、経口避妊薬や陣痛促進薬などの女性生殖器に作用する薬物、男性生殖器や泌尿器系に作用する薬物					林	講義	
15回	物質代謝に作用する薬物				ホルモンとホルモン拮抗薬、治療薬としてのビタミン					林	講義	

学 習 課 題

実務経験を活かした教育の取組